

当院で働く職員に、愛用する文具や日用品について語ってもらいます。

## これがなくちゃ落ち着かない 私が愛用するMONO

第3回



私が愛用するMONOは一眼レフカメラです。  
カメラを初めて握ったのは、昔々の私が学生の頃。カメラは「写ルンです。」でした。

修学旅行での思い出を撮るために「写ルンです。」を持って行っていました。

そして時代が変わり、デジカメ・スマートフォンのカメラで撮るようになり、私生活の何気ない風景ばかり何の知識もないまま撮っていました。

特に誰かに教わることもなく、ネットや本などで操作知識を覚えて、ただなんとなくシャッターを押し、撮影をしていました。それでも回数を重ねていくうちに、もっと良い画を撮りたいと思うようになり、少しずつカメラの魅力に取り憑かれていきました。

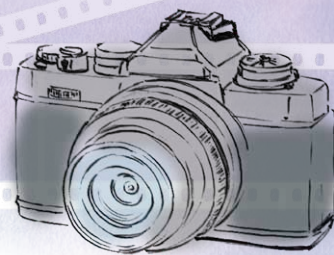
それから自分の思い描いているイメージを形にしたいと思うようになってきて、マイカメラを思い切って購入したのが一眼レフカメラでした。

『カッコイイ』『オシャレ』『シュッとした』写真を撮影できるように、日々勉強中です。

カメラは旅などで撮った写真を単に記録として残すのではなく、その時の感情まで思い返すことができる魅力を持った物だと思います。

さらに他の趣味と組み合わせることで真価を発揮するものだと思います。

放射線部 職員（T）



## 令和4年4月から 脳神経外科・腎臓泌尿器科 外来診療が紹介制になります

待ち時間の緩和及びスムーズな診察を目的として、令和4年4月から当院の脳神経外科・腎臓泌尿器科外来は紹介患者さま・予約患者さまのみの診察となります。脳神経外科・腎臓泌尿器科を初診・予約なしの再診で受診される際は、必ず医療機関からの紹介状（診療情報提供書）をご用意ください。

◆問い合わせ：医療事務室 TEL 06-6387-3311

### ミニコラム

## 紹介状とかかりつけ医

病院にかかるとき「紹介状はお持ちですか」と聞かれることがよくあるかと思います。

紹介状とは正式には「診療情報提供書」といい、かかりつけ医が紹介先の医療機関に患者さまの情報を伝えるためのものです。

紹介状があると診療情報が引き継がれ、必要な治療や検査などをスムーズに行うことができます。また、検査の重複やそのためにかかる余分な費用の負担を防ぐこともできます。

現在当院を含め多くの病院では紹介状なしで初診を受診される場合、健康保険での初診料とは別に選定療養費が費用としてかかってきます。このようなことから「紹介状はお持ちですか」と聞かれることが多いのです。

紹介状はかかりつけ医で作成してもらえます。

また、かかりつけ医には、身近に医療の相談ができるというメリットもあり、かかりつけ医をもつことが重要となります。紹介状とかかりつけ医、この2点は市民の皆さまがよりよい医療を受けていただくための重要なポイントです。

### 紹介状をお持ちですか？

かかりつけ医

紹介状

市立吹田市民病院

紹介状が必要な診療科があります

脳神経外科 腎臓泌尿器科 消化器科 小児科 産婦人科 皮膚科 整形外科 眼科 耳鼻咽喉科 歯科

紹介状が必要な診療科は、初診・再診ともに必要です。また、紹介状がない場合は、初診料に加え、選定療養費がかかります。

スムーズに受診いただけます

紹介状があることで、診療情報提供書がスムーズに伝わり、必要な検査や治療を受けることができます。

選定療養費の負担がなくなります

紹介状があることで、初診料に加え、選定療養費がかからないため、医療費の負担が軽減されます。

市立吹田市民病院  
SUITA MUNICIPAL HOSPITAL  
大阪府吹田市岸部新町5番7号  
診療時間：午前8時～午後5時（受付は午後4時30分まで）  
休日・夜間診療：応急外来（24時間受付）

当院掲載ポスター

平素より市立吹田市民病院だよりをご愛読いただきありがとうございます。  
ご意見がございましたら市立吹田市民病院までご連絡ください。

●編集・発行 市立吹田市民病院 広報委員会

# 吹田市民病院 だより No.80

〒564-8567 吹田市岸部新町5番7号  
TEL (06) 6387-3311  
FAX (06) 6380-5825  
ホームページ  
<https://www.suitamhp.osaka.jp>  
メールアドレス  
[shomu@mhp.suita.osaka.jp](mailto:shomu@mhp.suita.osaka.jp)



## 災害に備える ー災害医療と病院機能の紹介ー



市立吹田市民病院は、災害時に医療救護活動を行う拠点として市の災害医療センターに指定されており、豊能医療圏の災害医療を災害拠点病院である大阪大学医学部附属病院や大阪府済生会千里病院、DMAT（災害医療派遣チーム）などと連携、対応していくこととなります。

例えば、吹田市地域防災計画では、上町断層帯地震マグニチュード7.5（深度6弱～7）において、全域で断水・ガス供給停止・停電・通話障害が起こり、死者が1,364人、負傷者が4,628人、り災者が179,779人と想定されており、想定された状況下での訓練を行うことで、職員の災害に対する意識を高めるとともに即応できるように行動確認を行っています。

### 市立吹田市民病院における災害対応について

外部からの供給が絶たれた場合、備蓄燃料を使用した自家発電（3日分）、受水槽よりの上水（2日分）、院内に残っている職員＋道路寸断・公共交通機関ストップする中、緊急参集した職員などの医療資源を最大限活用し災害対応にあたります。







## 地震災害時の市立吹田市民病院の役割



救急科 小林 武弥 部長

診療科 救急科

経歴 獨協医科大学医学部卒（H8年卒）  
大阪大学医学部整形外科入局  
国立大阪病院  
大阪府立千里救命救急センター  
医療法人友誼会 友誼会総合病院  
大阪大学医学部附属病院  
泉大津市立病院  
堺市立総合医療センター

主な災害派遣実績

日時：平成23年3月12日～15日  
災害名：東日本大震災  
場所：いわて花巻空港  
（岩手県花巻市）

大規模災害では多くの傷病者への根本治療に対して十分な医療資源が得られない場合、トリアージに基づき優先度の高い傷病者から安定化治療（処置）を行い、DMAT、消防、自衛隊等と協働、被災地外の病院へ搬送、根本治療につなげます。

災害時、傷病者が多くなるほど、被災地内で十分な医療を提供することが困難となることが予想されます。まずは災害時に死なない、けがをしない、病気にならないよう減災に取り組んでいただければ幸いです。



## 災害医療とトリアージ

〔改定第2版〕DMAT標準テキストによれば、医療からみた災害は「増大した医療需要に対し平時の医療レベルを維持するための医療資源（医療従事者、医薬品、資機材など）の供給が不足し、迅速な調整と非被災地からの支援が必要な状態である」と記載されています。多数の傷病者に対し、限られた医療資源を最大限活用して最善と考えられる医療を提供しなければなりません。そのため、トリアージにより治療・搬送などの優先順位を決定することになります。

一般にトリアージとは、2段階で構成され、日本では一次トリアージとしてSTART法※1が、二次トリアージとしてPAT法※2が採用されています。

START法※1では歩行可能であれば「緑」、呼吸がなければ「黒」、呼吸不全・循環不全・意識障害があれば「赤」、緑・黒・赤以外を「黄」と判定します。判定に医療機器を必要とせず、迅速、容易に実施可能であり、優先順位は「赤」→「黄」→「緑」となり、「黒」は災害時には救命不能と判定されます。

一次トリアージ（START法※1）実施後、二次トリアージ（PAT法※2）に投入可能な医療資源（医療従事者、血圧計、パルスオキシメータなど）が準備できれば、「赤」「黄」「緑」の患者に対し、生理学的評価、解剖学的評価、災害弱者などの項目を加味してより詳細に「赤」「黄」「緑」を判定します。



### 用語解説

※1…START法 「Simple Triage And Rapid Treatment」の頭文字からきており、直訳すると「簡単なトリアージと迅速な治療」という意味で、災害時すぐに行うことができます。

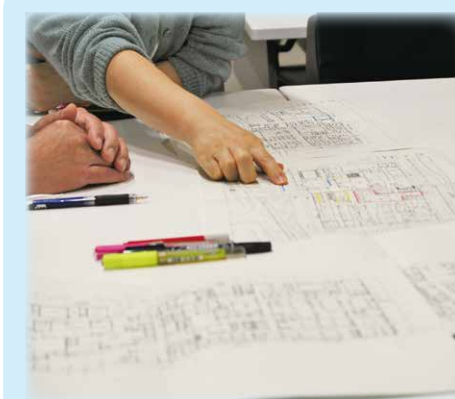
※2…PAT法 「Physiological and Anatomical Triage」からきており、直訳すると「生理的および解剖学的トリアージ」という意味で、ある程度のヒトとモノ（医療資源）の準備が必要。



## 大規模災害訓練を実施しました

10月29日（金）に、当院にて吹田市内で震度5弱以上の直下型地震が発生した想定で災害訓練を実施しました。

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症防止の観点から規模を縮小し、本部機能の確認に重点を置き、訓練を実施しました。また、エレベーターの閉じ込め事故を想定した訓練も実施し、特別な研修を受けたスタッフが実際に止まったエレベーターの開錠を行いました。



10月23日（土）に、豊能地区の医療機関が連携して、「豊能二次医療圏合同災害対策研修会」を行いました。

この研修は地域災害拠点病院の済生会千里病院・大阪大学医学部附属病院が中心となり、当院を含め豊能地区の医療機関12施設が参加しました。

災害救急医療情報システム（EMIS）の運用訓練や、コロナ禍でのトリアージ方法を演題とした机上訓練を実施しました。

ウェブ会議システムを利用した実施となりましたが、他病院の災害対策時の体制などを共有することができ、大変有意義な研修となりました。



## 市立吹田市民病院の免震構造

市民病院は免震構造を採用し、高い免震性を確保しています。病院の建物と地面は免震層と呼ばれる場所（写真1）で構造的に切り離され、**積層ゴム支承**と**弾性すべり支承**で建物を支え、**オイルダンパー**で地震の揺れを低減しています（右図参照）。これにより地面が揺れても建物は免震層の上を滑るように動き、揺れが低減されます。このため、建物周囲には約60cmのすき間を設けております（写真2）。



（写真1）免震ピット階 免震層



（写真2）

